

「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 栃木市の開催について

1. 「こどもまんなか応援サポーター」就任について

本市では、妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援により、安心して子どもを産み育てることができるまちづくりの実現に向け、「子育てするなら栃木市へ」を目標に様々な子育て支援策を展開してまいりました。

そこで、こども家庭庁が推進する「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、行政のみならず、全ての人が子どもや子育て中の方々を応援する機運の醸成を高めるきっかけづくりとするべく、「栃木市長」と市マスコットキャラクター「とち介」が「こどもまんなか応援サポーター」就任を宣言します。

(1) こどもまんなか応援サポーターとは

子どもたちのために何がもっともよいことかを常に考え、子どもたちが健やかで幸せに成長できる社会を実現するという「こどもまんなか宣言」の趣旨に賛同し、自らもアクションに取り組む個人、団体・企業、自治体等のこと。

(2) 宣言に関連した取組

- ・市公式SNS等を活用し、「こどもまんなか」社会に向けた取り組みや情報を、「#こどもまんなかやってみた」として発信し、市民・団体等の協働による取り組みが広く展開していただけるよう啓発を行う。
- ・こども計画（令和6年度策定予定）策定のため、市内在住の15歳から39歳の1,500名を対象に「こども・若者の意識と生活に関する調査」による意見聴取を行い、分析したうえで、意見の具現化に向けた策定に努める。

2. 「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 栃木市

期 日：令和6年3月12日（火）

【午前の部】10時30分～

場 所：市役所本庁舎 1階 市民スペース

表 題：「こども誰でも通園制度と子育ての質」

登壇者：講話とパネルディスカッション

- ・こども家庭庁保育政策課長補佐 でぐち たかし 出口 貴史 氏
「こどもまんなか社会とこども誰でも通園の考え方」
- ・栃木市長 大川 秀子
「未就園児を支える地域の在り方・考え方」
- ・コーディネーター (株) こころく 代表取締役 やました まみ 山下 真美 氏

※シンポジウム開催時、市長と「とち介」が「こどもまんなか応援サポーター」就任を宣言します。

【午後の部】13時30分～

場 所：子育て支援センター「ゆめふうせん」（栃木市泉川町）

内 容：未就園児預かりモデル事業利用者のグループディスカッション

ファシリテーター：(株) こころく 代表取締役 やました まみ 山下 真美 氏

※「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウムについては、和歌山、神奈川、岡山県奈義町、埼玉、北九州市、北海道、愛媛、福山市、大分、福井に続き、栃木市が全国で11番目となります。

主催：栃木市

後援：こども家庭庁

こども未来部 子育て支援課 担当 石川 電話 0282-21-2165